

平成20年度決算報告

まちの家計簿を公表します

町民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をよりよくするためにいろいろな形で使われています。

これらがどれくらい納められ、どのように使われているかを知っていただくために、平成20年度の決算を報告します。歳出は、目的別と性質別に分けてお知らせします。

普通会計決算の概要

平成20年度は、2町合併後3年目にあたり、厳しい財政環境の中ではありましたが、地域福祉の充実、住民に身近な社会資本等の整備や自主的、主体的な地域づくりなどの各種施策の推進を図りました。

決算収支の状況は、歳入総額95億4777万円、歳入歳出差引は5億2003万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の3470万円を控除すると、実質収支は4億8533万円となりました。

歳出では、町道整備6億923万円、港湾整備4億4180万円、農業農村整備2億5523万円など投資的経費に20億6631万円を投資することができました。

この結果の報告を通じ、町財政の実情についてご理解いただき、今後の町政運営により一層のご協力をお願いします。

歳入総額 95億4777万円

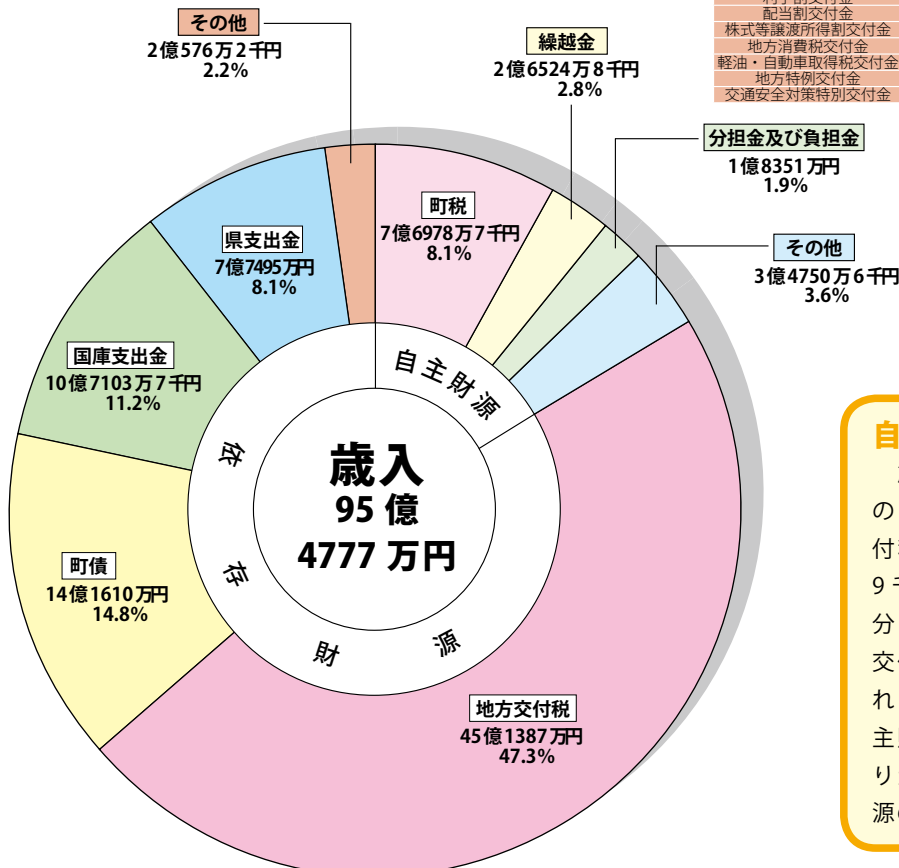
自主財源その他内訳 (単位: 千円)	
使用料	49,406
手数料	8,775
財産収入	73,198
寄附金	3,975
繰入金	80,410
諸収入	131,742

依存財源その他内訳 (単位: 千円)	
地方譲与税	83,429
利子割交付金	3,277
配当割交付金	503
株式等譲渡所得割交付金	114
地方消費税交付金	84,320
軽油・自動車取得税交付金	21,133
地方特例交付金	11,373
交通安全対策特別交付金	1,613

行政用語の解説1

■実質収支
歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額

■投資的経費
投資的経費は、生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費があげられる



自主財源は16.4%

歳入では、町税や分担金及び負担金などの自主財源が15億6605万1千円、地方交付税や町債などの依存財源が79億8171万9千円です。町の財源には、町税などの自分たちで収入を得る「自主財源」と、地方交付税などのように国や県などから交付される「依存財源」の2種類があります。自主財源が多いほど、自主性が高いまちづくりができます。本町の財源に占める自主財源の割合は16.4%でした。